



兵庫支部NEWS H21年 5月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(Tel.078-792-6130)

ホームページ <http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono> メール hn75kb@ybb.ne.jp

購読料 12回、1,500円(送料込)

購読のお申し込みは郵便振替

振替口座:00980-2-245822

口座名:北九州市立大学同窓会兵庫支部

支部総会準備着々と 平成21年第2回役員会開催

5月17日(日)13:30より新長田勤労市民センターにおいて、今年第2回目となる役員会が、役員総数17名のうち11名が出席して開催された。



(後列左から、三宅、松山、名越、佐藤、平間、安徳)

(前列左から、吉本、河野、大村、山田、二宮)

平成21年度支部総会・懇親会へ向けて、諸事項が熱心に協議された。

1. 平成20年度収支報告書承認の件

松山会計幹事から支部会計について報告され、忘年会費用の計上方法を修正することで承認された。

兵庫支部NEWS会計については、編集担当の名越顧問から報告され承認された。

2. 平成20年度活動の記録について

支部会務報告を山田副支部長、各同好会の活動報告をそれぞれの同好会会長がすることになっており、それぞれが報告書を作成する。なお、「囲碁の会」会長は都合により欠席となる為、名越顧問が代理で報告することになる。

3. 支部総会・懇親会次第について

山田副支部長作成の総会・懇親会次第を基に協議され、承認された。

4. その他

*5/17現在出席予定者は26名、欠席連絡者は67名。案内総数714名で返事されていない人も多く、役員各自参加呼びかけを行う。出欠連絡者氏名をメールで役員各自に連絡する

*特別講話「年金の話」に対する質問事項を準備・整理する。

支部総会出席予定者

開催案内状は5月上旬に宅急メール便で支部会員全員714名に同窓会本部から送付され、5/17現在で、出席予定者は26名。参加よろしく願います。

井上信之(25米英)、大村実良(33商)、岩崎直彦(33商)

藤田博保(35商)、河野旺生(36商)、山本信司(37米英)

名越英昭(37米英)、村上勝幸(37商)、二宮慶治郎(38米英)

吉本富雄(39米英)、赤松初夫(40米英)、名倉勝征(41米英)

元田幸治(42商)、久芳健二(44商)、安徳信義(44商)

山田紘昭(44商)、福永憲彦(44経営)、松山仁(44商)

隅信(45国文)、高橋義則(48経営)、牛丸敬孝(51中国)

牛丸真寿美(52法律)、三宅隆志(59中国)、信岡康則(62経済)

太田裕之(H1経営学)、佐藤研二(H8法律)

兵庫支部総会・懇親会ご案内

開催日:平成21年7月5日(日)

支部総会 : 14:00~15:00

於 兵庫教育大学神戸サテライト

特別講話 : 15:00~16:00

「知って得する年金の話」

—ご質問にお答えして—

社会保険労務士 土屋真一氏

支部懇親会 : 17:10~18:55

於 神戸港クルージング船「コンチェルト」

会費 : 男性7,000円、女性5,000円

アクセス : 支部総会会場

兵庫教育大学神戸サテライト 講義室5

神戸市中央区東川崎町1-5-7

神戸情報文化ビル3階、Tel.078-361-5023

(JR神戸駅から徒歩約8分)

神戸ハーバーランド地下2階C出口利用)



コンチェルト チケットカウンター(モザイク1F)

コンチェルト乗船場所(モザイク前)

コンチェルト

全長:74m

2,138ト

参加申込:6/20まで

参加申込先:兵庫支部事務局長 二宮慶治郎

Tel. & Fax. 078-851-1875

E-mail: ninom406@skyblue.ocn.ne.jp



損害保険・医療保険・がん保険

の総合保険代理店

安心の発信基地

大村保険サービス

代表 大村実良

(昭和33年商学部卒)

652-0897

神戸市兵庫区駅南通3丁目4-1-302

TEL 078-671-7318 FAX 078-671-8316

インド便り

高森千賀子(44米英)

兵庫支部の皆様、お元気でご活躍の事と存じます。いつもお世話になり有難うございます。

昨日の部屋の気温が45℃でした。ということは、外は50℃近いのではないのでしょうか。男性は「月光仮面のおじさん」のごとく、目だけ残して顔を布でグルグル巻きスタイルです。窓からは熱風が入り、天井のファンを回すとハロゲンヒーター並です。猛暑、酷暑などの言葉では表現できません。

それに一日の停電が9時間もあります。今日はどういわけか、電気が来たので今のうちにと送信いたします。

「メダカ小学校」の近況報告

総選挙が4月23日に終了した。この選挙のため、年度末テストの予定が狂った。例年4月初めに行うテストを1ヶ月早めて3月初めに実施するよにとの通達が、学校に届いたのは2月だった。私は英語を担当しているが、1年間のカリキュラムを考えて指導していたので、大慌てだった。1ヶ月足らず補修授業をして、どうにか教科書を終えてテストに間に合わせた。テスト後は、教師は成績表作成で忙しいので、休暇に入った。

毎年7月から新学年は始まるが、今年は4月からだと州政府が急に言い、生徒の連絡をして学校が始まった。しかし、登校した児童は1/5余り。ほとんどが親戚に出かけている。授業はしなくて良く、ただ1時間ほど遊んで帰らせればいいとのこと。これでは学校の意味がない。今は気温が45℃もあり、この猛暑の中を登下校するのは大変だ。すると、今度はまたもや休暇にするよにとの連絡があった。

こうして、今年は3月初めのテスト後から6月末までの、かれこれ3ヶ月間の長期休暇となった。選挙が教育とどうい繋がりがあるのか不明だが、政府や教育庁からの通達はこのよにいつも突然だし、予測できない。我々はただ従うのみだ。余裕を持ってカリキュラムを作らねばいけないという教訓だった。

さて、毎年年度末には勉強を全然しない生徒や、無断欠席の多い生徒を2~3名カットしてきた。もっとカットしたかったが、最低確保人数の問題もあり、もう少し様子を見ようとチャンスを与えてきた。でも今年は、私の我慢も限界で、総生徒数50名のうち、大幅に11名カットした。皆様からの貴重な寄付金をドブに捨てているのと同じで、こういう生徒には使えないからだ。この不景気のなか、寄付金は思うよには集まらず、困難を極めている。生徒の親に苦勞を説明しても、全く意に介せずだ。とにかくタダでもらえるものは何でもらおうという「もらったもん勝ち」だから。

無断欠席の場合、1回につき120円払うという罰則を作った。最初は効果があった。が、次第に「お金がないから後で払う」と言い出し、払わずじまいになってしまった。それで、これらの生徒もカットした。悪例を認めるときりがなく、とにかく厳しい態度をとらねば…だ。インド人の知り合いでさえ、「厳格にしないと、インド人はすぐルーズになるよ」といつもアドバイスしてくれている。

兵庫支部月例会4月「三金会」

兵庫支部月例会4月「三金会」は、4月17日(金)午後6時から、定例会場の「雲南茶苑」において開催された。

出席者：大村実良(33商)二宮慶治郎(38米英)吉本富雄(39米英)安徳信義(44商)山田紘昭(44商)三宅隆志(59中国)名越英昭(37米英)謝美華・青木かおる(ゲスト)9名



(左から、安徳、二宮、名越、三宅、大村、山田、吉本、謝)

吉本氏が久しぶりに元気な姿を見せ、謝美華さんはコラーゲンたっぷりの豚足の柔らか煮込みを持参して、そしてラジオ関西の深夜番組「ヒロノツトムの走れタコ！」(火曜日24:00~24:30)に出演している青木かおるさん(写真左)も前月に続いてゲスト参加して、和やかな雰囲気の中で、山田副支部長が中心となって支部総会開催打ち合わせがなされた。

案内状発送を5月中旬位と仮定し、コンチェルトのパンフレットを同封すべく740部の本部宛発送手配済総会会場は定員53名であるが、多い場合隣の講義室も使用可能であることなどが報告され、詳細は役員会で協議することとし、5月17日開催を予定する。

同窓会会費完納者

平成20年度の同窓会会費完納者が同窓会本部から連絡があり、兵庫支部会員の新たな完納者は1名で、納入金額20,000円の70%が支部への還元金として支払いされる。

完納者：藤本明寛(40商)宝塚市

なお、支部からは謝意を込めて、設立20周年記念誌が送られました。

受勲のお知らせ(平成21年春の叙勲)

瑞宝中綬章

若松繁信、78、北九州市立大学名誉教授

北九大在任期間(昭和36年4月8日~平成8年3月31日)

子供の名前がカットされると、親は決まって「貧困」を理由に、カットしないでくれと懇願する。そういう親に限って、ヒンズー教では禁止されている飲酒をしたり、携帯電話を持っていたりする。また、私の家のすぐ前に住んでいる生徒の母親は、入学許可をもらいに来た時だけ挨拶をしたが、その後は「ナマステ(こんにちは)」の一言でさえ言わない。おまけに、私の土地の周囲に塀として使っていたトゲのある木を盗って、毎日それを燃料として食事を作り、いつのまにか全部なくなってしまう。料理は美味しかったのだろうか？彼らにとっては「人の物は自分の物」なのだろう。

少々、疲れ気味の私の近況でした。

世界遺産熊野古道を歩く

第3回河瀬王子～紀伊内原駅 12.2km

第3回目の熊野古道ウォークは、5月13日(水)参加者は22名、バス1台で出発。

紀伊路で山間部を歩くのは今回が最後となるか、出発地点から昼食予定地まで約3時間はトイレなしとなる由。そのため吉備湯浅PAでトイレ休憩後出発地に向かう。

紀ノ川SAで昼食弁当を積み込み、本日の語り部、太田さん(女性)を迎えて、出発地の河瀬(ごのせ)王子跡に到着したのは10時少し前。早速ストレッチ体操をして、語り部さんに先導されて出発。



(出発地でストレッチ体操)



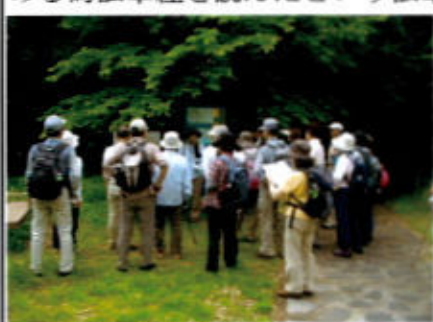
延命地蔵寺には、程なく差し掛かる大峠に向かう坂道を行く人のために代って汗をかいてくれるとかいう「汗かき地蔵尊」が祀られている。民家が続く通りには旅籠「車屋跡」などの看板がある。

民家がまばらになり山間部が近くなってきたなどとおもわれると「馬留王子跡」にやってきた。ここで乗ってきた馬を帰し草鞋の紐を締めなおして鹿ヶ瀬峠(大峠)越えをしたので「馬留王子」というが、峠を超えた反対側も同じ「馬留王子」があり東あるいは西の馬留王子と言われている。

本日の語り部、太田さんは携帯スピーカを用意し、(西の馬留王子跡を説明の語り部)判り易く説明して参加者には好評であった。



(大峠まできつい登り坂が続く) 持ち帰り御粥にして食せば治るとか。お米はないが、丁寧に拌んできた。すぐ近くには骸骨の幽霊を鎮める為法華経を読んだという法華堂がある。



(大峠で説明を聞く一行)

やがて大きな広場に出た。ここが大峠の広場である。この大峠は熊野路の難所の一つで茶屋、旅籠等があり賑わいをみせていたという。

ここから麓まで下り坂である。

いかにも古道といった感じの石畳みの下り道を軽やかに、でも足を滑らさないように慎重に、下りてゆく。やがて里が近づいたなと思うと黒竹の林が見えてきた。日高町の特産物である。



(黒竹の林)

道も緩やかな下り坂で歩き易くなり、熊野古道散策公園という看板がある。と、目の前にバスが見えた。弁当を運んでやってきたのである。ここは金魚茶屋跡で車道の終点である。弁当を受取り昼食とする

江戸時代の宿場で、鹿瀬山から流れる清流を笕で引き、金魚を飼って旅人を慰めたことからこの名前がついた。少し下りた所には「後鳥羽院昼食御所跡」の標柱が立っている。熊野古道とされる道を通ったり、車道を歩いたり、また熊野古道の道標に従い路地に入ったりしながら10分ばかり歩くと「杵掛王子跡」に到着(写真右)



険阻な鹿ヶ瀬峠越えで、人々は、いたんだ藁沓を履き替えたり、牛馬の沓も替えたりしたことから「杵掛」と言われたようだ。

ここから10分で弘法大師さんの「爪書き地蔵」を祀るお堂がある。お堂の横から覗いてみると大きな岩に仏さんが線刻されている。本当に爪で?



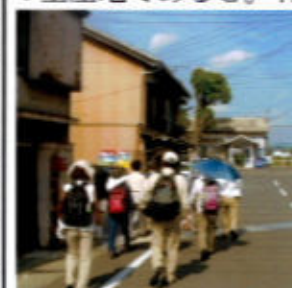
立派な、大きな内原保育所を通り過ぎ史跡「四つ石聖蹟地」(写真左)にきた。

後鳥羽上皇がこの地で小休止されたとのこと。

次に「東の馬留王子跡」にやってきた。「西の馬留

王子」は往路、「東の馬留王子」は復路に、それぞれ大峠を目前にして馬を留めたのである。

民家の塀に挟まれた「一里塚跡」の石碑、雨乞いの神様、雨司権現を祀る「雨司神社」を通り過ぎ、黒竹加工工場がある原谷地区へやってくると、昔ながらの古い葉の看板を掲げた家があった。文字もかすれて読みにくい、右の写真は大学目薬とある。その隣は黒竹加工工場で語り部さんの知り合いとかで工場見学をさせて頂いた。釣り竿や、建築装飾材、家具の装飾材としてまた近年は民芸品にと使われており、日本一の生産地であると。竹で籐のように囲まれた



(ゴールの紀伊内原駅(正面)に向かう一行)

本殿の「今熊野神社」「内の畑王子跡」などを訪ねて最後の「高家王子跡」を訪問。

ここからゴールの紀伊内原駅まで約20分掛ったが、全員元気でゴールイン。

次回からしばらくは平坦な道が続くコースとなる。

歩こう会 4月例会 龍野歴史遊歩

間に合った! 桜花は待っていた!!

各地の桜の開花宣言が予想より早目に報道される中、神戸の開花宣言も例年より少し早い3月23日だった。歩こう会例会日の第2日曜日は12日と遅めのため、例会日の頃は散ってしまっているのでは…と懸念されていたが、開花後一時的に冷え込んだ時期もあったためか、日頃の歩こう会メンバーの精進の良さか桜花は我々を待っていてくれた。



(後列左から、赤松、松山、森田、藤田、永翁、松山夫人、澤田)
(前列左から、山浦、安徳、名越)

4月12日(日) 姫路から姫新線に乗り継いで本竜野駅に10:36到着。上郡から車でやってきた赤松氏が出迎えてくれる。近在にお住いという事で本日の案内役である。

例年4月は花見ハイクと称して実施されてきたが、今年は散ってしまうかもと、二宮会長は「竜野歴史遊歩」として案内する。それでも参加者は花見を楽しむつもりである。

本竜野駅から駅前商店街を西へ進み、龍野橋を渡るとすぐ、武蔵が修練したという龍野御坊円光寺があり、「宮本武蔵修練之地」と記した石碑がある。(写真左)



ここで一列車遅れて到着した山浦夫妻を待ち受け、脇坂藩總菩提寺如来寺を訪れる。ここには三木露風の歌碑と筆塚がある。ここから5分ばかりで龍野城城門に到着した。龍野城は鶏籠山の山頂に500年前頃に赤松村秀によって築かれ、蜂須賀、福島、小笠原、岡部、京極と城主が変わり、一時幕府直轄領となっていた。脇坂安政が寛文12年1672年に信州飯田から入部した時は城、侍屋敷も壊されていた。幕府の嫌忌に触れることを恐れ、天守閣は築かず、鶏籠山山麓に御殿式の城を築いたが、明治の廃藩置県により全て壊されてしまい、現在の建物は昭和54年に再建されたものである。

(殿様気分でパチリ)

脇坂藩は幕末まで続き、赤穂城請取りの脇坂安照、桜田門外の変当時の老中脇坂安宅(ヤサリ)などがよく知られている。



城内の桜は正に満開。風に吹かれて大量の花びらが舞い落ちる様子は、これぞ花吹雪。地面は花びらで敷き詰められ思わず手で掬う。



城内、隅櫓の前で本日の参加者12名全員が勢揃いして記念撮影。掬った花びらをまき散らしたのだが。(後列左から澤田英憲(44商)安徳信義(44商)松山仁(44商)及び夫人、名越英昭(37米英)藤田博保(35商)二宮慶治郎(38米英)前列左から山浦氏(ゲオ)赤松初夫(40米英)永翁正臣(41商)山浦夫人・森田氏) 予告なしでやってきた永翁氏は土地勘鋭く龍野城内できっちり我々と合流。案内人がもう一人増えた。

龍野神社へ向かう途中で、一週間前に行われた武者行列の装束(?)を纏った人に遭遇し、早速記念撮影を依頼(右) 龍野神社でも桜花は見頃で多くの人たちが弁当を広げている。我々も昼食をとることにして、空いたベンチを集め車座になって宴の始まり。



赤松・永翁両氏差し入れの地酒、吟醸酒が振る舞われて、今年も賑やかに楽しく花見をすることができた。感謝!感謝! 宴の後はすぐ側にある茶室「楽庵」で永翁氏により参加者全員に御茶席を用意して頂いた。

桜花の下で記念撮影(トップの写真)を撮り龍野公園方面へウォーキング開始。10分ばかりで三木露風先生立像(右)の立つ龍野公園に到着。立像の横には「赤とんぼ」の歌碑があり、その前に立つと懐かしい「赤とんぼ」のメロディが流れてくる。

そこから少し小高い丘に向かって登って行き、「童謡の小径」に入る。小さい秋みつけた、みかんの花咲く丘、七つの子、叱られて、夕焼小焼、里の秋と六つの童謡の歌碑があり、それぞれの場所でメロディを聞いて丘を下りると、国民宿舎赤とんぼ荘がある。ここでコーヒーで一息入れて本竜野駅へと向かう。

途中で「うすくち龍野醤油資料館」に立ち寄り、かつての本社建物が資料館として利用され、建物は、国登録有形文化財とのこと。名物の「しょうゆ饅頭」を買い求めて、帰路についた。



(「赤とんぼ」の歌碑の前で)

